

**製品名: UBE3C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19535**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	125kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UBE3C
別名	UBE3C; KIAA0010; KIAA10; Ubiquitin-protein ligase E3C; HectH2
遺伝子 ID	148581.0
SwissProt ID	Q15386
免疫原	ヒト UBE3C の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

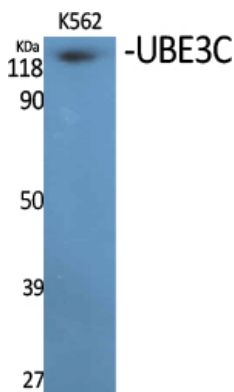
機能: E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。E2 ユビキチン結合酵素 UBE2D1 からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、標的基質に直接転移する。in vitro では自身をユビキチン化の標的とし、in vivo では自身の分解を促進する可能性がある。、その他: ユビキ

チンチオエステル形成にはシステイン残基が必要である。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: HECT (E6AP型 E3ユビキチンタンパク質リガーゼ) ドメインを1つ含む。類似性: IQドメインを1つ含む。サブユニット: 26Sプロテアソームと相互作用する。CAND2に結合する。組織特異性: 骨格筋で高発現する。腎臓および膵臓では、はるかに低いレベルで検出されます。機能: E3ユビキチンタンパク質リガーゼは、E2ユビキチン結合酵素UBE2D1からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、標的基質に直接転移します。in vitroでは自身をユビキチン化の対象とすることができ、in vivoでは自身の分解を促進する可能性があります。その他: ユビキチンチオエステル形成にはシステイン残基が必要です。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: HECT (E6AP型 E3ユビキチンタンパク質リガーゼ) ドメインを1つ含みます。類似性: IQドメインを1つ含みます。サブユニット: 26Sプロテアソームと相互作用します。CAND2に結合します。組織特異性: 骨格筋で高発現しています。腎臓と膵臓では非常に低いレベルで検出されます。

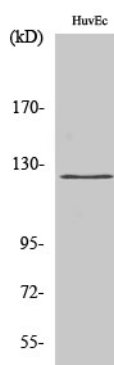
## 研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

## 画像データ



UBE3C ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。



UBE3C ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。